

ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）認定園研修会

大阪府堺市私立わんぱく保育園

2014年4月17日

ピラミーデ認定園最終講義に寄せていただきました。

わんぱく保育園の玄関先に国際ピラミーデ（ピラミッド・メソッド）認定園プレートが掲げられていました。親しい友に会ったようでした。

この国際ピラミーデ認定プレートは、私が直に手渡しではなくて、園長先生が昨年オランダ、ドイツのピラミーデ保育園研修旅行に参加されたときに、C i t o (旧オランダ王立教育評価機構) のピラミーデ責任者メノ・ボネット氏から直接渡されたものです。



国際ピラミーデのプレートが神々しく見えました。

わんぱく保育園は、1年間のカリキュラムをプロジェクト教育で進められています。当然、4月のテーマは『入園式』『進級』です。玄関先のイーゼルにテーマが子どもや保護者に向けて知らされています。

プロジェクト教育の特長は、極めて具体的に子どもが視覚的に理解できるように進められます。一言で言えば目に見える保育活動です。



二階に上がると踊り場には、子どもたちのユニークなアイデアが構築物で展示されています。めったに子どもたちが壊すようなことはしないそうです。大事なものだ意識しているようです。





建物の支柱に囲い込みが作られ、子どもたちの作品が飾られています。子どもたちは自分たちが作った作品に価値があると考えます。だからおもちゃは大事に扱っています。



保育園の子どもたちの入園は、年齢がばらばらに入ってきます。子どもが入園してきた年の顔写真を額に入れ、進級するたびに額の数が増えていきます。0歳からの子どもの写真と3歳からの子どもの写真の枚数が異なります。おもしろいアイデアです。

最近の新設園，改築園の多くが採用し始めたのが、このような子どもの私物入れロッカーです。乳児の場合は、オムツや着替えと結構私物をたくさん持ってきます。従来は保育室の私物収納箱に入れるために、保護者が保育室に入って来ました。すでに保育が始まっている場合は、子どもたちは落ち着きません。このように保育室の外から私物を入れると、担任が部屋の中で受け取れます。子どもたちも静かに保育を受けています。素敵なアイデアです。



わんぱく保育園は、ピラミード（ピラミッド・メソッド）の理念を、日常の保育に根付かせておられるのが、このパネルに象徴されています。私が研修を終えて階下に下りると、子どもたちはおやつを食べていました。それぞれが思いのままに机に座ってリラックスな雰囲気です。パネルの右側がおやつを食べている子どものシンボルマークです。食べ終わった子どもは自分のマークを左側に付けます。誰が食べて、誰が食べていないかが一目で分かります。



園庭に本物の井戸が掘られ、昔風のポンプで水をくみ上げます。
子どもの力でも楽に水が出てきます。うらやましい園庭環境です。

